

輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）

申請者名：愛媛県、品目：媛スマ

1. 輸出における現状と課題

現在、媛スマについては、種苗生産技術及び養殖技術の高度化に向けた取組、スマ専用種苗生産施設の活用等による生産量増産体制の強化、「媛スマ普及促進協議会」による販路確保の取組の強化を図っている。一方、輸出については、テスト販売以外では実現していない状況である。近年、継続的に国内における水産物の消費が減少傾向にあるといわれているが、令和元年度現在、アジア市場、北米市場を中心に、海外における日本食レストランは約15.6万店、最近5年間で倍増に近い伸びとなっていることから、海外市場の重要性が高まっているところである。こうした状況を踏まえ、高単価である媛スマの海外販路開拓は、重要性が高いと考えている。

2. 輸出事業計画の取組内容

- ①輸出対象国
「第1ターゲット」をアジア圏、「第2ターゲット」を北米に設定する。
- ②加工、流通に係る取組み
 - 1) 適切な梱包、荷姿の検討
輸出対象国へのリードタイムや輸送形態に応じて、高機能氷が溶けにくい梱包資材を使用した、様々な形態での輸送試験を繰り返すことにより、鮮度保持を可能とする最適な梱包・荷姿を絞り込むこととする。
 - 2) 加工施設の検討
輸出対象国毎のレギュレーションを踏まえた対応が必要のため、HACCPプランの策定、FSMAへの対応のための体制整備や施設登録に向けた専門家の招へい、ソフト・ハード面の整備を検討する。
 - 3) 輸送手段、経路の検討
適切な温度管理のもと、最短かつ低コストの輸送経路及び手段を選定し、様々な輸送手段及び経路を利用した輸送試験を行い、現地バイヤー等の評価を踏まえ、媛スマに最適な物流システムを構築する。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

- 「媛スマ普及促進協議会」関係者が連携し、グローバル産地計画について「検討」「策定」「検証」し、実効性ある計画に「改善」することにより、PDCAサイクルを的確に運用する。（PDCA実施体制図は別紙のとおり。）
- 生産、流通及び加工に係る取組み
生産マニュアルによる身質の均一化を図るとともに、テスト輸送により最適な荷姿と物流を検討する。
 - 販路拡大のための展示会・商談会等への出展
協議会関係者の商流を通じたパートナーの確保に加え、輸出対象国における商談会等への出展により、国内外のインポーターやエクスポーター等との関係を構築し、パートナー企業の創出を図る。
 - 海外バイヤーの招聘
海外バイヤーへの媛スマのテスト輸送やテスト販売を行うとともに、海外バイヤーを招聘し、生産現場の視察や媛スマの取組を紹介したうえで、取引先の意向やロット等の各種条件をふまえた更なる関係強化を図る。

4. 輸出目標額

		現状（令和元年度）	目標年（令和5年度）
宇和海地区	輸出額（円）	3,871,000	19,040,000
	輸出量（t）	1.1	5.61
	生産量（t）	23.0	112.0

輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）

申請者名：愛媛県、品目：媛スマ

別紙 事業の組織体系図及び連携体制図

